

# はたらきかた 改革通信 2024 No.2

## 「授業準備の時間がほしい」～魅力アップUPノ校支援事業 第2回訪問支援より～

「魅力アップUPノ校支援事業」の第2回訪問支援を行いました。まず、前回紹介した“ワークログ”から自身の働き方を振り返り、業務の偏り、負担感、充実度などについて確認しました。そして、業務改善に向けたアイデアや方向性を出し合ったところ、以下に紹介したような意見が出されました。両校に共通していた目標は、「勤務時間内に空き時間を生み出して、授業準備に充てたい」ということでした。また、一般社団法人ライフ&ワーク代表の妹尾昌俊先生からは、業務改善の見通しのポイントもアドバイスいただきましたので、こちらも是非参考にしてください。



### 広陵中学校 7月11日(木)

#### 教科/テストに関すること

テストを外部委託して、テスト作成や採点、成績処理を業者に行ってもらってはどうか。

授業後の「振り返り」を書かせるようにしているが、それに目を通す時間がない。

I C Tを用いた宿題のやり方を知りたい。

#### 日課に関すること

授業準備の時間を確保したい。  
(複数から同様の意見)

清掃前の黙想の時間をカットしたい。  
清掃場所への移動・活動を含めて15分で終わらせたい。

休憩時間が全体の1%しか取れていない。何とか時間を生み出せないか。

#### 部活,その他に関すること

部活動については中体連等の大会の引率や運営業務が負担。地域移行が待たれる。

会計業務の購入・支出伺いの手続きが大変。簡略化できないか。

教頭先生のワークログを見て、勤務時間が長いと実感した。

### 塩尻西小学校 7月12日(金)

#### 課外活動に関すること

開門時間を現在の7:30から、もう少し遅らせてもよい。金管の朝練習との時間調整も課題。

陸上や金管などの地域指導者導入などは、学校単位ではなく、市全体で見直していけたら。

課外活動は朝ではなく、放課後の勤務時間内に行ってみては。

#### 日課に関すること

ワークログから、授業のウェルビーイング度が高いことが分かった。授業準備の時間をしっかりとりたい。

昼のドリルの時間を削減すれば、下校を早め、放課後の時間を生み出せる。

清掃の回数を減らしたいという意見はあるが、低学年の教室の汚れが心配。

#### 行事,その他に関すること

4月の家庭訪問は、なくしてもよいのでは。家の場所はインターネットの地図機能で確認できる。

「今日は18時までには帰る」など時間で区切る意識をもつことも大切。

早く留守電を入れてほしい。  
→2学期から導入(市教委)

改善策を話し合うための観点は、①教員個人のせいだけにしない。②子どものためになることの中からも見直す。③「それってなんのためだっけ？」に立ち返りつつ別のやり方も考える、の3つ。出された多くのアイデアを、実行に移せるかが今後の課題です。



皆さんの学校でも、研修会や校内プロジェクトでアイデアを出し合ってみてはいかがでしょうか。

妹尾先生より

# 働き方改革シェアミーティング開催 7月24日(水)

## ～第2回テーマ「日課の見直し」～

第2回シェアミーティングでは、市町村教育委員会、小・中学校を合わせて33名の皆様にお集まりいただき、「日課の見直し」をテーマに話し合いました。以下に一部紹介させていただきます。

### 清掃



A 教育委員会

放課後の時間確保のため、下呂市の中学校を参考に中学校の清掃を週3回10分にしました。時間が限られている分集中して清掃するようになったと聞いています。

### 清掃



B 中学校

午後の清掃を3回にして、空いた2回分を読書の時間に。朝読書がなくなり、その分登校時間を15分遅らすことができました。

### 行事



C 小学校

音楽会では、1,3,5年生が合奏、2,4,6年生が合唱発表に。授業で学んだことを発表することを基本に行事を考えるようにしています。

### 研修



D 小学校

研修、教材研究、教師間の対話の時間を何とか捻出したい。自由進度学習や探究的な学び等々、これからの授業改善に繋げる「研修」の時間は、どうしたって必要です。

### 5時間授業



E 中学校

清掃日数を週4日に見直し、テスト前後に5時間授業を増やしました。ワークライフバランスの点から長期休業中の時差勤務を検討中です。

### 日課



F 小学校

1時間目は9時開始。1,2時間目の間と3,4時間目の間をなくし、給食を12:20～としました。子どもや職員から「余裕ができた」と好評です。

### 行事



G 中学校

これまでキャンプや登山など行事に向けて相当な時間をかけて丁寧に準備してきました。準備をもう少し簡略化するという発想をもたなければ改革は進まないと感じています。

### 保護者



H 小学校

夕方は、保護者との連絡のために電話が混雑。教材研究の時間も取りたいが、保護者とのつながりも大切にしたい。悩ましいところです。

子どもたちに手厚い教育をと、あれもこれもやろうとしてきたのがこれまで。その結果、職員だけではなく子どもたちも疲れる結果になっていませんか。他県の事例で言えば、部活は16:30終了、年間指導計画は教科書の計画をコピー、参観日ではなく参観期間にチェンジ、PTA会合はオンライン参加もOKなど。これまで当たり前をやってきたことを、思いきり変換してみましよう。賛否が分かれるのは当然なので、まずはお試しでやってみたらどうでしょうか。



妹尾先生より

学校ごとに、抱えている課題や地域性を踏まえて、職員間でよく話し合いながら日課の見直しを進めていることが分かりました。特に多く取組まれていたのは、行事の見直し、清掃の時間や回数の見直し、5時間授業の実現でした。県教委では、県内の各小中学校で取組んでいる業務改善の実践を、今後も皆様と共有し、改善の取組みをますます広げていきたいと考えています。下記のQRコードにアクセスをして、ぜひご意見等をお寄せください。

次回は、10月9日(水)13:30~15:20 テーマ「終業後勤務の見直し」です。今回同様、当日参加方式(事前申し込みなし)としますので、ぜひ気軽にご参加ください。お待ちしております。



こんな時代だから、ワクワクしたい!!!  
これからの目指す姿  
個人と社会の  
ウェルビーイングの  
実現

<お問合せ先>

長野県教育委員会事務局義務教育課(担当:鈴木、藤木)

電話 026-235-7426 Mail: gimukyo@pref.nagano.lg.jp

